



コンサベーション・インターナショナル  
緑の気候基金（GCF）の「環境社会管理システム（ESMS）」への提案（概要）<sup>1</sup>

2017年3月3日  
CI ジャパン

緑の気候基金（GCF）は、強固な環境社会政策を通して、人々と自然生態系を健全な状態に保ちつつ、低炭素で気候変動に強い開発への転換を進める投資を促していくことができます。コンサベーション・インターナショナル（CI）は、GCF事務局が作成した「環境社会政策」のドラフトのさらなる改善に向けて、以下を提案致します。詳細は、別添の英文サブミッションをご参照下さい。

## 1. REDD+について

- 強固なセーフガードは、GCFによる投資が環境的・社会的な便益を生みつつ、確実に負の影響を回避するために重要です。CIは、REDD+の活動の際に、GCFの環境社会セーフガードの要件と、気候変動枠組条約（UNFCCC）の締約国会議（COP）が採択したカンクン・セーフガードを含むセーフガードが、整合的であり一貫性が保たれることを強く求めます。重複を避けつつ、報告の負担を最小限にするために、GCFは2つの要件が厳格かつ実用的な形で実施できるための、ガイダンスを作成すべきと考えます。  
 （注）カンクン・セーフガードとは：COP16（2010年）で合意されたREDD+活動の際に配慮すべきセーフガードの7項目。国家森林プログラムや国際条約等との一貫性、透明で効果的な国の森林ガバナンス、先住民や地域住民の権利の尊重、利害関係者の参加、天然林と生物多様性の保全、非持続性のリスクへの対応、リーケージへの対応からなる。
- 他のセクターと異なり、各国はUNFCCCの下で、REDD+を進めるための枠組みに既に合意しています。カンクン・セーフガードを実施することは、カンクン・セーフガードの実施に関する情報提供を含む、REDD+に関する全てのUNFCCC下での合意を満たすこととなります。そのために、各国は、主権に配慮しつつ、活動の実施を通してどのようにカンクン・セーフガードに対処し、尊重したかを透明性の高い形で情報を提供するためのシステムを整備する必要があります。REDD+社会環境基準（REDD+ SES）のようなグッドプラクティスは、国の状況に沿ってセーフガードの要件に即した実施を進めるのに役立ちます。
- GCFは、全ての承認案件に対して、社会環境基準を一貫して適用すべきです。そのため、REDD+の成果支払いに関するプロポーザルを含む全ての活動について、GCFのセーフガード基準が遵守されることが必要です。報告の際の重複と管理面での負担を最小化させるために、GCFはどのようにREDD+に関するカンクン・セーフガードとGCFのセーフガードが、効果的なモニタリングと報告プロセスを通して、ともに適用できるかを示すガイダンスを作成すべきです。

<sup>1</sup> 本提案は GCF 理事会決定 B.07/02, paragraph (n) に基づく call for public inputs に対応したものです。

- CIは、UNFCCCのREDD+の要件との一貫性を保ち、モニタリングと報告のプロセスを簡素化するために、GCFの環境社会政策とREDD+カンクン・セーフガードが整合的であることを求めます。

## 2. その他の項目について

CIは、先住民の権利とセーフガードの円滑な実施について、下記を提案します。

### 先住民の権利について：

- 「先住民の権利に関する国際連合宣言」を参照して、「自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意（free, prior and informed consent：FPIC）」を明確に規定すること。
- 今後、環境社会セーフガードを補完し強化するGCFの「先住民政策」を策定する際に、透明性が高く包含的なプロセスを採用すること。

### セーフガードの実施に向けた要件、役割、責任の明確化に向けて：

- 環境社会政策の効果的な実施に不可欠である、実施マニュアル等の主なガイダンス文書の作成予定時期を明らかにすること。
- 環境社会政策はGCF、認証実施機関、ステークホルダーの3者に適用されるが、現在のドラフトではそれぞれの役割の説明が不十分であることから、3者の役割を明確にすること。
- 現在のドラフトでは認証レベルの要件とプロジェクトレベルの要件が混同しているため、両者を分けて明確に規定すること。
- GCFが他機関とco-financeする際に、GCFがどのようにセーフガードの「共通のアプローチ」を始め、どのようにこのアプローチが最も高い国際基準に沿うよう確保するかを明確に示すこと。
- 環境社会政策の改訂によって、実施中のプロジェクトにどのような影響が及ぶのかを明らかにすること。

以上

（別添）Conservation International, “Inputs to the Green Climate Fund regarding the development of the Environmental and Social Management System”, 24 February 2017.